

トレンチャー施工見学会を開催

＜道前平野農地整備事業所＞

令和4年1月27日(木)に道前平野農地整備事業所は、愛媛県西条市の北条新田団地において施工業者の協力のもとトレンチャー施工の見学会を開催し、愛媛県職員や西条市役所職員、近隣の施工業者が参加しました。トレンチャーは四国地方では珍しいため、試験施工として今年度の暗渠排水工事に取り入れています。

はじめに、施工業者から施工方法についての説明があり、その後、工事現場内へ移動しトレンチャーによる掘削、吸水管布設、被覆材(砕石)投入の一連の作業を見学しました。

ちなみに……

トレンチャーは新潟から運んできました



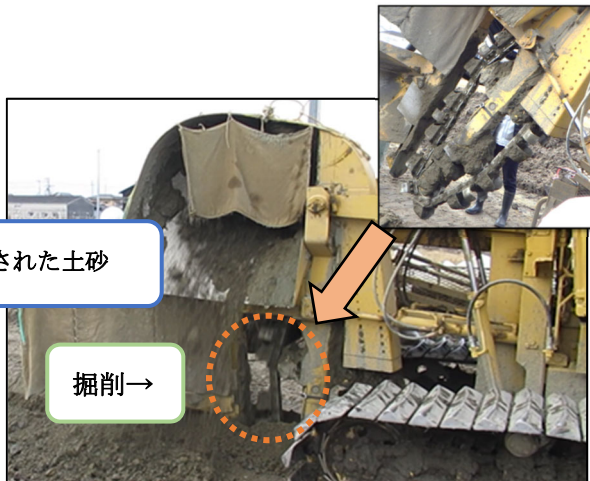
【トレンチャー掘削を見学している様子】



【トレンチャー掘削と吸水管布設】

トレンチャー掘削は、バックホウ掘削に比べ、施工速度が約2倍も速くなります。また、掘削幅は、バックホウ掘削のB=30cmに対してB=20cmと狭いため、疎水材の使用量が少なくコストが安いというメリットもあります。その一方で、従来のバックホウによる施工に比べて機械の台数が少なく、礫が多いと掘削できないなど使用条件が限られてしまいます。

今回の試験施工も参考にしながら、本事業における円滑な暗渠排水工の施工推進につなげていきたいと考えています。



【トレンチャー掘削機の仕組み】



【管布設と疎水材の投入を並行で行う様子】